

西日本言語学会 学会誌規定

0. 学会誌の名称と刊行頻度

- 0.1. 本学会の学会誌を *NIDABA* 「ニダバ」と称する。
- 0.2. 学会誌の発行は毎年1回とする。

1. 投稿資格

- 1.1. 学会誌に投稿できる者は西日本言語学会会員（以下会員という）に限る。
- 1.2. 筆頭著者以外の共著者も会員である必要がある。

2. 投稿原稿の種別

- 2.1. 投稿原稿の種別は、「論文」・「研究ノート」・「書評」・「報告」とする。
- 2.2. 「論文」は、従来の研究を十分に踏まえた上で、自説を他人に説得できる形で展開し、かつオリジナリティーがあると認められるものである。
- 2.3. 「研究ノート」は、学説・資料の整理・紹介に比重のあるもの、または将来、論文に発展する可能性を揃えた論考である。
- 2.4. 「書評」は、他者の著作などについての批評や資料などの紹介とする。
- 2.5. 「報告」は、研究の成果を公開し、研究交流や共同研究の促進のためにその結果をまとめたものである。

3. 投稿言語の使用言語

- 3.1. 投稿原稿の使用言語は、日本語・英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語とする。

4. 投稿原稿の構成

- 4.1. 原稿は、表題、所属、投稿者氏名、本文と脚註、参考文献の順に記載する（表題と投稿者氏名などは、別紙（*NIDABA* 投稿申込書）にも記載する）。
- 4.2. 用語が日本語の場合には欧文の、用語が欧文の場合には日本語の要旨を付すことができる。その際、5つまでのキーワードを付すことができる。要旨とキーワードは「本文と註」の前に記載する。

5. 投稿原稿の書式・分量

- 5.1. 投稿原稿はワープロファイル（Word・一太郎）（A4サイズ）とする。
- 5.2. 基本フォントと段落の設定は、以下の通りとする。

日本語：(MS)明朝

英数字：(Times [New]) Roman

サイズ：10.5ポイント（欧文原稿の場合は、11.0ポイント）

段落：両端揃え

5.3. ページ設定は、以下の通りとする。

分量：40 ページ以内（論文）

25 ページ以内（研究ノート、報告）

10 ページ以内（書評）

用紙：A4

ページ設定：41 字×35 行

節名：左寄せ（10.5 ポイント（MS）ゴシック）。節前本文と節名の間には 1 行空け、節名と節後本文との間には 1 行空けない。

下位節名：左寄せ（10.5 ポイント（MS）ゴシック）。下位節名と本文との間に 1 行空けない。

用例：(1) (2)...と連番を付し、用例の上下に 1 行開ける。

註：脚注（連番、9.0 ポイント、両端揃え）

文献書誌情報：「引用・参考文献」をセンタリングで付して、9.0 ポイント、2.5 字ぶら下げ

6. 投稿の要領

6.1. 母語以外で執筆した部分は、必ずネイティブチェックを行うこと。

6.2. ワープロファイル原稿と共に、「NIDABA 投稿申込書」に必要事項を記入し、メール（nidaba@hiroshima-u.ac.jp）宛てに提出する。

6.3. 原稿を提出した後、1 週間以内に編集委員会から受領確認の連絡が届かない場合には、事務局に問い合わせをすること。

7. 採否とその後

7.1. 投稿原稿の採否は査読結果に基づいて編集委員会が決定する。

7.2. 投稿された研究論文の採否は概ね下記の基準によって決定する。

- ・ 内容が言語学であること
- ・ 論旨の明確さ、妥当性
- ・ 資料の信頼性、実証性
- ・ 表現の適切性
- ・ 体裁の正しさ

7.3. 執筆者が担当する校正は初稿のみとし、その際の加除は認められない。

8. 原稿料・著作権

8.1. 同誌掲載内容の著作権は原則として本学会に帰属する。

8.2. 本学会は、同誌掲載内容を電子化または複製の形態などで公開・配布する権利を有する。

2021 年 3 月 31 日 制定

2022 年 3 月 31 日一部改訂

2023 年 3 月 31 日一部改訂